



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月7日

上場会社名 株式会社マルイチ産商 上場取引所 名
 コード番号 8228 URL http://www.maruichi.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 藤沢 政俊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 企画・管 理部門統括 (氏名) 白井 幸男 TEL 026-285-4101
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日 平成26年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	84,806	4.1	351	42.2	574	23.2	286	11.6
26年3月期第2四半期	81,476	3.3	247	△34.4	466	△20.5	257	△20.0

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 384百万円 (22.3%) 26年3月期第2四半期 314百万円 (39.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	12.44	—
26年3月期第2四半期	11.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	39,249	18,042	45.3
26年3月期	37,726	17,783	46.5

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 17,771百万円 26年3月期 17,526百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	0.00	3.00	0.00	5.00	8.00
27年3月期	0.00	3.00			
27年3月期(予想)			0.00	6.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	1.6	1,075	21.4	1,450	11.9	700	23.7	30.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	23,121,000株	26年3月期	23,121,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	66,416株	26年3月期	66,311株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	23,054,612株	26年3月期2Q	23,055,129株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府および日銀による金融・財政政策の効果もあり、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、消費税率引き上げ等による実質可処分所得の伸び悩みや夏場の天候不順による影響もあり、個人消費の回復は鈍く、先行き不透明な状況となっております。食品流通業界におきましては、消費者の節約志向が根強く、業種・業態を超えた競争の激化や円安の進行による原材料価格の高騰等もあり、依然として厳しい経営環境で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは今年度を初年度とする中期経営計画「変革2016～Challenge for Change～」に基づき、「強い商品」と「強い機能」による収益拡大と、当社独自のSCM（サプライ・チェーン・マネジメント）基盤「M-tops（マルイチ・トータル・プラットフォーム・システム）」の構築による「強い事業基盤の構築」に取り組んでおります。

収益拡大に向けましては、商品の調達力と開発力、生鮮基軸の地域密着型フルライン機能を活かした営業活動を展開し、また、長野県内や首都圏で開催した展示商談会において付加価値提案を推進するなど、新たな需要創造と顧客開拓を進めております。

事業構造改革に向けましては、さらなるローコスト化を目指し、機能の一元化とネットワークによる拠点機能の再編を進めております。

以上のことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は、848億6百万円（前年同期比4.1%増）となりました。利益面につきましては、営業利益3億51百万円（前年同期比42.2%増）、経常利益5億74百万円（同23.2%増）、四半期純利益2億86百万円（同11.6%増）となりました。

[セグメント別の概況]

※各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高を除いて記載しております。

<水産事業セグメント>

売上高 587億6百万円（前年同期比2.1%増）
営業利益 1億48百万円（前年同期比117.5%増）

売上高につきましては、新たな産地との取引による商品調達の強化や、戦略魚種のフルアソート調達による全業種・業態への販売展開、和日配・洋日配のオリジナル開発商品の販売拡大や、フードサービス事業における新規顧客への販路拡大により、前年同期に対して11億97百万円の増収となりました。

営業損益につきましては、売上高の拡大に伴う売上総利益額の増加により、前年同期に対して79百万円の増益となりました。

<一般食品事業セグメント>

売上高 123億56百万円（前年同期比0.5%増）
営業損失 17百万円（前年同期は51百万円の営業利益）

売上高につきましては、主要顧客との取り組み強化による基盤商圏の深耕化と、当社オリジナル商品の開発と長野県内外への販売等により販売マーケットを拡大したことから、前年同期に対して60百万円の増収となりました。

営業損益につきましては、店頭における低価格競争の影響等により売上総利益率が低下し、前年同期に対して68百万円の減益となりましたが、収益力を強化すべく、事業構造改革による生産性向上や、事業基盤の拡大等へ戦略的に取り組んでおります。

<畜産事業セグメント>

売上高 134億79百万円（前年同期比18.7%増）
営業利益 1億90百万円（前年同期比56.3%増）

売上高につきましては、畜産物全般の相場が高値で推移する中、畜産品の需要が堅調に推移したことに加え、生産者との取り組みによる強い商品力と調達力を活かし、首都圏を中心に新規エリアへの販売を拡大したことから、前年同期に対して21億26百万円の増収となりました。

営業損益につきましては、売上高の拡大により売上総利益額が増加したことから、前年同期に対して68百万円の増益となりました。

<その他(小売店の店舗支援事業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業)>

売上高 2億64百万円(前年同期比17.2%減)
 営業利益 31百万円(前年同期比379.3%増)

子会社でありますAES㈱による小売店の店舗支援事業と、同マルイチ・ロジスティクス・サービス㈱による物流・冷蔵倉庫事業について、グループ内の各事業との組織的な連携強化を進め、売上高は2億64百万円、営業損益は31百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は392億49百万円となり、前連結会計年度末と比較して15億22百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が8億66百万円減少する一方で、受取手形及び売掛金が10億76百万円、商品及び製品が9億72百万円、流動資産その他が4億52百万円増加したことによります。

負債は212億6百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億63百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が9億95百万円、未払法人税等が64百万円、流動負債その他が2億11百万円増加したことによります。

純資産合計は180億42百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億59百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の46.5%から45.3%に減少しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は34億32百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億78百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は21百万円となりました(前年同四半期連結累計期間に減少した資金は24億19百万円)。これは主に、税金等調整前四半期純利益が5億74百万円、減価償却費が2億88百万円となる一方で、売上債権・たな卸資産・仕入債務からなる運転資金が10億84百万円減少したことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は6億44百万円となりました(前年同四半期連結累計期間に減少した資金は54百万円)。これは主に、有形固定資産の取得による支出が1億12百万円、金銭の信託の取得による支出が5億円となったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は2億12百万円となりました(前年同四半期連結累計期間に減少した資金は2億27百万円)。これは主に、リース債務の返済による支出が86百万円、配当金の支払額が1億15百万円となったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月9日に発表しました業績予想に変更はありません。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法をポイント基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

なお、これらの変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,351	3,485
受取手形及び売掛金	13,053	14,129
商品及び製品	2,740	3,712
仕掛品	9	7
原材料及び貯蔵品	66	86
その他	2,068	2,520
貸倒引当金	△150	△244
流動資産合計	22,139	23,698
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,396	3,318
土地	7,639	7,639
その他(純額)	754	758
有形固定資産合計	11,791	11,716
無形固定資産		
のれん	131	109
その他	172	149
無形固定資産合計	303	258
投資その他の資産		
投資有価証券	1,946	2,056
その他	1,640	1,612
貸倒引当金	△95	△94
投資その他の資産合計	3,491	3,575
固定資産合計	15,586	15,550
資産合計	37,726	39,249
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,780	14,775
短期借入金	1,500	1,500
未払法人税等	220	285
賞与引当金	457	457
その他	1,922	2,134
流動負債合計	17,880	19,153
固定負債		
役員退職慰労引当金	220	234
債務保証損失引当金	87	87
退職給付に係る負債	984	958
資産除去債務	80	81
その他	690	691
固定負債合計	2,062	2,053
負債合計	19,943	21,206

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,719	3,719
資本剰余金	3,380	3,380
利益剰余金	10,487	10,659
自己株式	△53	△53
株主資本合計	17,533	17,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	215	284
退職給付に係る調整累計額	△222	△217
その他の包括利益累計額合計	△7	66
少数株主持分	256	270
純資産合計	17,783	18,042
負債純資産合計	37,726	39,249

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	81,476	84,806
売上原価	73,848	76,758
売上総利益	7,628	8,047
販売費及び一般管理費	7,381	7,696
営業利益	247	351
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	44	38
受取賃貸料	89	98
その他	93	98
営業外収益合計	229	237
営業外費用		
支払利息	4	4
固定資産除却損	2	7
その他	2	2
営業外費用合計	10	14
経常利益	466	574
税金等調整前四半期純利益	466	574
法人税、住民税及び事業税	144	275
法人税等調整額	53	△11
法人税等合計	198	263
少数株主損益調整前四半期純利益	268	311
少数株主利益	11	24
四半期純利益	257	286

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	268	311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	69
退職給付に係る調整額	—	4
その他の包括利益合計	46	73
四半期包括利益	314	384
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	303	360
少数株主に係る四半期包括利益	11	24

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	466	574
減価償却費	299	288
のれん償却額	42	21
固定資産除却損	2	7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△22	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△18
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△22	14
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△38	92
受取利息及び受取配当金	△46	△41
支払利息	4	4
売上債権の増減額 (△は増加)	2,235	△1,089
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△890	△990
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,918	995
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	145	43
その他の負債の増減額 (△は減少)	△313	230
その他	10	7
小計	△2,045	141
利息及び配当金の受取額	47	39
利息の支払額	△4	△3
法人税等の支払額	△416	△210
法人税等の還付額	0	11
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,419	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△115	△112
無形固定資産の取得による支出	△64	△7
投資有価証券の取得による支出	△7	△7
投資有価証券の償還による収入	300	—
貸付けによる支出	△240	—
貸付金の回収による収入	12	18
定期預金の預入による支出	△45	△36
定期預金の払戻による収入	102	24
金銭の信託の取得による支出	—	△500
その他	4	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54	△644
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△88	△86
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△138	△115
少数株主への配当金の支払額	△0	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△227	△212
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,701	△878
現金及び現金同等物の期首残高	6,424	4,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,722	3,432

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	57,509	12,296	11,352	81,157	318	81,476	—	81,476
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	0	1,703	1,704	△1,704	—
計	57,509	12,297	11,352	81,158	2,021	83,180	△1,704	81,476
セグメント利益	68	51	121	240	6	247	—	247

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、小売業の店舗支援事業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。
 2. セグメント間取引消去によるものであります。
 3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	58,706	12,356	13,479	84,542	264	84,806	—	84,806
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	—	1	1,672	1,673	△1,673	—
計	58,706	12,357	13,479	84,543	1,936	86,480	△1,673	84,806
セグメント利益又は 損失(△)	148	△17	190	320	31	351	—	351

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、小売業の店舗支援事業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。
 2. セグメント間取引消去によるものであります。
 3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。